

所属・氏名（ 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 氏名：田尻 佑喜 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (著書) 連載 スーパー臨床神経病理 カンファレンス 第2回.	共著	2024 年 1 月, 2024 年 2 月.	医学書院 BRAIN and NERVE 第76巻第2号・3号.	臨床神経病理 症例提示連載企画記事. 本人担当部分抽出不可能. (著者:足立正, 鈴木有紀, <u>田尻佑喜</u>)
2 (学術論文) Can language characteristics contribute to the classification of neurodegenerative disorders? -An exploratory study.	共著	2026 年 1 月	Internal medicine. 65(1):103-110.	日本語版言語スクリーニング(JLS)検査による, アルツハイマー病(AD), 進行性核上性麻痺 (PSP), 筋萎縮性側索硬化症(ALS), パーキン ソン病(PD)患者の言語障害特性の調査研究. 被検者リクルート・データ収集担当. (著者. 渡辺保裕, 大槻美佳, <u>田尻佑喜</u> , 村上丈 伸, 花島律子 ほか)
3 (学術論文) A Single institution Study on Predictors of Short-term Progression from Mild Cognitive Impairment in Parkinson's Disease to Parkinson's Disease with Dementia. (筆頭著者)	共著	2020 年 2 月	Yonago Acta Med. 63(1):28-33.	軽度認知障害を伴うパーキンソン病(PD-MCI) において, 短期間に認知症を伴うパーキンソン 病(PDD)へ進行する事前予測因子として立ち 眩み感, 衝動制御障害を特定した. データ収集・データ解析・執筆を担当. (著者. <u>田尻佑喜</u> , 和田健二, 足立正, 中島健 二, 花島律子 ほか)
4 (学術論文) 神経難病患者におけるオン ライン診療導入に対する患 者側の心理的, 環境的な障壁 の検討. (筆頭著者)	共著	2025 年 8 月	臨床神経学. 65(9):637-646.	患者・患者介助者向け3施設質問票調査研究. 神経難病患者むけオンライン診療普及にインタ ーネット環境整備とそれを介助する体制が重要. データ解析・執筆を担当. (著者. <u>田尻佑喜</u> , 柴田曜, 瀧川洋史, 石田義 則, 坪井義夫, 宇川義一, 花島律子 ほか)
5 (報告・発表) 神経難病患者での Online 診 療導入の心理的, 環境的障 害についての検討.	筆頭 発表者	2023 年 5 月	第 64 回日本神経 学会学術大会. 千葉市.	神経難病患者アンケート調査により Internet の 自宅使用が無いことが Online 診療導入の強固 な阻害因子であることを特定した. データ解析・発表を担当. (演者: <u>田尻佑喜</u> , 石田義則, 花島律子 ほか)
6 (シンポジウム演者) 地方運動障害疾患 telemedicine の現状と今後 の課題. 地方都市大学病院で の神経難病 online 診療導入 の現状と課題.	シンポジ ウム登壇	2023 年 7 月	第 17 回日本パーキ ンソン病・運動障害 疾患学会コングレ ス. 大阪市.	地方都市大学病院での telemedicine 診療導入 に際して患者のハード面・ソフト面での導入とトラ ブルシューティング, また関連する病院事務, 薬 局対応等様々な課題と今後の展望について. (登壇者: <u>田尻佑喜</u> , 石田義則)
7 (市民向け講演会) 認知症をどう判断し治療す るか, 患者さんと認知症医から のメッセージ.	分担 講師	2024 年 8 月	とりだい病院倉吉メ ディカルセミナー. 鳥取県倉吉市.	認知症の診断, 治療についての講演. (講演者: <u>田尻佑喜</u> , 宇野哲史, 森田明美)
8 (市民向け講演会) 認知症の発症予防・進行予 防.	分担 講師	2024 年 10 月	とりだい病院松江メ ディカルセミナー. 島根県松江市.	認知症の発症予防・進行予防についての講演. (講演者: <u>田尻佑喜</u> , 宇野哲史, 足立正)

令和 8 年 4 月 1 日 現在